

科 目 名	司 法 福 祉 論					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	江 越 正 嘉						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	法学の歴史や精神、基礎的知識を概説し、その中から法律的思考の基礎を習得するとともに、生活にかかわる法律の概要と仕組みについて説明し、法的知識を身につけることで相談支援者としての法的素養を涵養し、より良い相談支援ができるようになる。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 ・法学の歴史的背景や精神、基礎的な法学概念、定義について理解する。 ・憲法、民法、刑法、消費者法、労働法の基礎的知識と実務上の問題点について理解する。 ②思考・判断 ・物事や問題点について、法学的な観点から分析することができる。 ③関心・意欲 ・法律の生まれてきた歴史と背景から社会生活における法律、法学の意味について関心を持つ。 ・実際の生活上の問題や社会問題について、法学的観点から分析することに関心を持つ。 ④態度 ・生活上の問題や社会問題について、主体的に考える。 ⑤技能・表現 ・生活上の問題や社会問題の分析、文章の作成において、法学的分析をもとに構成することができる。						
学 習 方 法	講義。場合によってグループディスカッション、レポート作成。						
テキスト及び 参考書等	テキスト はじめての法律学 -- HとJの物語 第3版補訂版（有斐閣アルマ）、法学六法 [*] 14(信山社)						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達目標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎		○		55	
小テスト等	○	○				15	
宿題・授業外レポート	○					15	
授業態度				○		5	
受講者の発表				○		5	
授業への参加度				○		5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	法学の歴史と成立背景について						
第 2 週	日本国憲法の成立背景とその精神について						
第 3 週	法律を学ぶにあたっての基礎的な知識、六法と基本法体系、法的思考、法的分析の方法						
第 4 週	行政法と統治機構の基礎						
第 5 週	民法の基礎__総則						
第 6 週	民法の基礎__物権、担保物件、債権など						
第 7 週	民法の基礎__契約総則						
第 8 週	民法の基礎__契約各論						
第 9 週	民法の基礎__不法行為、事務管理など						
第 10 週	民法の基礎__家族法						
第 11 週	民法と関連する法律の基礎__民事訴訟法と国際法						
第 12 週	刑法の基礎						
第 13 週	刑法と関連する法律の基礎__刑事訴訟法と医療観察法、少年法						
第 14 週	労働法の基礎、消費者法の基礎と消費者問題の分析と解決						
第 15 週	法学的思考と法的解決、法化社会について						
第 16 週	試験						
備 考							